

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和元年 12 月 25 日発行

No.10

行ったり来たりも大切なこと

～冬期休業前集会副校長講話から～



副校長 木原 英俊

長かった第Ⅱ期・第Ⅲ期も今日で終わります。皆さん一人一人にとって、この4か月間は、どのような毎日だったでしょうか。8月から始まるこの時期は、様々な活動を通して周囲の人と関わりながら、大きく成長できる機会がたくさんあったと思います。

8月の授業開始集会では「利他」の心というお話をしました。自分を第一に考える「利己」に対して、「利他」は、他者のために行動する、他者の立場を尊重する。そんな優しさや思いやりを大切にする考え方です。そして、その「思いやり」の気持ちは回り回って、結局は自分自身に戻ってきます。

9月の藤華祭で皆さんが見せてくれた、まぶしいほどにキラキラと輝いている姿や、11月の合唱祭で見てくれた、学級・学年としての成長を感じさせてくれる、凛とした立ち姿や歌声は、その場を共有した多くの人の心の中に、深く残っています。



【藤華祭】



【合唱祭】

「藤華祭」と「合唱祭」。この二つの行事について、皆さんはどんなことを思い出しますか？言葉に出さなくてもいいので少しの時間、考えてみてください。どうでしょうか。もちろん当日の楽しさや、ステージに上がった時の緊張感や達成感を思い出す人も多いでしょう。ですが、それと共に、又はそれ以上に、その時を迎えるまでの様々な場面を思い出す人も多いのではないのでしょうか。中には苦しさや、辛さもきつとあったと思いますが、それは必要な経験です。その辛さがあったからこそ今日があって、今の自分自身があるわけです。行事への取組は一つの例ですが、日々の生活の中で、人のためにどんな行動をとるのがよいか、どんな言葉を掛けたらよいかを、第Ⅰ期よりも少しでも多く意識することができたのであれば、この4か月間はとても充実した日々だったといえます。

少し視点を変えます。皆さんが周囲の人に対して「この人はどんな人かな」と考えるとき、判断材料はその人の日々の言動から自分自身が感じていることだと思います。では、その見方を自分自身に向けてみてください。自分が毎日積み重ねている言動によって、周囲は皆さんがどんな人なのかを感じ取っています。積み重ねた言動が、その人を表しているとも言えます。ですが、それは変わることはない絶対的なものではありません。多くの経験を積み重ねることで変化していきます。その変化が常にプラスになるかというと、そんな単純なものでもありません。「利己」が強くなってしまうと、時には思い上がっている自分に出会うかもしれません。「利他」を大切にすべきだと背伸びしすぎると、必要以上に自分を卑下している自分を見るかもしれません。大切なのは自分を客観視する気

持ちをもって、行ったり来たりをくり返ししながら、自分自身を磨いていくことです。そして後から振り返って見たときに、少しでも前に進んだなど感じる事ができれば、それが人としての成長だと、私は思っています。

明日から約3週間の冬休みが始まります。まずは、少しでも自分自身を休めて、第Ⅳ期に向けてリフレッシュしてください。そして、年末・年始を挟むこの時期は、明確な意志をもって過ごすことが大切です。特に、3年生は自分の目標に向かって迷わずに進んでほしいと思います。1,2年生は、これまでの自分自身の成長を振り返って、第Ⅳ期からの「なりたい自分の姿」をしっかりとイメージしながら過ごしてください。

最後になりますが、普段は家族の一員として「気持ちはあるけど、時間と余裕がない」ために、つつい甘えてしまっていることもあると思います。ぜひ、家族への感謝の気持ちを、自分の言葉や行動で伝えてください。それでは、1月の再会を楽しみにしています。



教育活動に関するアンケート ~ご協力ありがとうございました~

過日、懇談の折にお渡しした教育活動に関するアンケートについて、ご協力いただきありがとうございました。結果を集計したところ、ほぼ全ての項目で9割以上の肯定的な評価をいただくことが出来ました。この結果を励みに、今後もよりよい教育を目指して日々の実践を積み重ねていきたいと思えます。以下、いただいた主なご意見やご要望の一部を紹介させていただきます。

【評価できるポイント】

- ・生徒自らが課題を見つけ解決しながら、主体的に学んでいる。
- ・仲間と対話を重ね、協力して学びを深めている。
- ・仲間同士で刺激し合って切磋琢磨している。
- ・生徒の個性を認め、一人一人を大切にしている。
- ・異学年や社会と交流し様々な考え方に触れて視野を広げている。

【改善を要すると思われるポイント】

- ・行事や提出物が重なり忙しい時期があるので、体力的に心配。
- ・活動内容や研究をより積極的に発信すれば、附属のよさがより伝わる。
- ・部活動や体育的行事の更なる充実。
- ・基礎基本の徹底など一人一人に応じた支援。
- ・小学校との一貫性のある教育。

「評価できるポイント」については、今年度も多くの賛同のご意見をいただきました。特に授業に関する記述が多く、本校の研究の成果を評価していただいたと受け止めております。今後もこうした期待に応えるべく、授業の向上に努めてまいります。

「改善を要すると思われるポイント」に書かれた内容については、一つ一つを真摯に受け止め、今後の学校改善につなげていきたいと考えております。具体的には、荷物が重いとのこと指摘が今年度も寄せられておりますが、学習道具を置いておける環境を整えられるよう、鋭意調整を進めているところです。また、学習についての一人一人に応じた支援については、現在「個の育成」を研究のテーマに掲げ、一人一人の状況をどのように見取り支援していくかについて実践を重ねております。全てのご要望にはお応えしきれない部分もありますが、生徒や保護者の皆様の想いを大切に、教育活動に邁進していく所存です。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

■北海道財務局の皆様に出前授業に来ていただきました

12月20日(金)北海道財務局の皆様にお越しいたき、「日本の財政を考える」というテーマで3年生を対象に出前授業を実施していただきました。前半は、3クラス合同で日本の財政についての説明を受けました。後半は、クラスごとに分かれ、PCのファイルを使って予算案を作りました。生徒たちは日本の将来を考えて予算案を作成する過程で、多様な考え方があることに気づき、学びを深めていたようです。



■「税についての作文」と「人権作文コンテスト」の表彰に来ていただきました

夏休みの課題として応募した「税についての作文」と「全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会」において、以下の生徒が入賞しました。その表彰を、税務署や人権擁護委員協議会の皆様にお越しいたき校長室で行いました。入賞した皆さん、おめでとうございます。

令和2年1月の行事予定

※昨年末に配付した学校だよりでは、14日(火)の3年期末テストが「理・英」となっておりましたが、「社・理」の誤りです。お詫びして訂正申し上げます。

日(曜日)	行事等の予定	最終下校バス時刻(予定)
13(月)	成人の日	
14(火)	第IV期授業開始集会 3年期末テスト(国・数・社・理) 職員室入室制限	16:50
15(水)	3年期末テスト(英・音・美・体・技/家) 入学手続き説明会	16:50
16(木)		16:50
17(金)	委員会・専門局会 昼清掃 PTA 役員選考員会	16:50
18(土)	部活動可	
19(日)	部活動可	
20(月)	教員採用直前実習開始	16:50
21(火)	委員会・専門局会 PTA 役員会	16:50
22(水)	研究日 昼清掃	16:05
23(木)		16:50
24(金)	教員採用直前実習終了	16:50
25(土)	部活動可 英検	
26(日)	部活動可	
27(月)		16:50
28(火)	1・2年教育相談①	16:50
29(水)	1・2年教育相談② 研究日 昼清掃	16:50
30(木)	1・2年教育相談③	16:50
31(金)	議長・書記会	16:50

今年はや号が平成から令和に変わり、新たな気持ちで新年度を迎えることが出来ました。本校においても、全校で行っている研究が新たなテーマで始まったり、長年の懸案事項であったグラウンドが改修されたりと、よりよい学校を目指した改革・改善が着実に進められているところです。こうした取組も保護者の皆様のご理解とご協力があってこそと、感謝申し上げます。今年も本校を支えていただき、ありがとうございました。

冬季休業が終われば令和2年が幕を開けます。残り少なくなった今年度をしっかりと締めくくることが出来るよう、教職員一同尽力してまいります。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

